

● 新規購入図書紹介

図 書 名	著 者	出 版
地方自治・地方行政		
住民と行政をつなぐ自治体法の実践 法の役割を理解し政策を展開するために	川崎政司・兼子仁	第一法規
データで読む地域再生 「強い県・強い市町村」の秘密を探る	日本経済新聞社地域報道 センター（編）	日経BP 日本経済新聞出版
教 育		
地域教育経営論 学び続けられる地域社会のデザイン	荻野亮吾・丹間康仁 （編著）	大学教育出版
DX時代の人づくりと学び	降旗信一・金馬国晴・加納 寛子・佐々木豊志（編著）	人言洞
社 会		
学校－家庭－地域をつなぐ 子ども家庭支援アセスメントガイドブック	公益社団法人 日本社会福祉士会（編）	中央法規出版
コロナ禍で問われる社会政策と自治体 「住まい」の支援を中心に	飛田博史（編）	公人の友社
まちづくり		
公民連携まちづくり事例&解説 エリア再生のためのPPP	日経アーキテクチュア（編）	日経BP

コロナ禍で過ごした学生生活



だんだんと暖かくなり、花も咲き始め春の訪れを感じる季節になりました。

さて、3月といえば卒業シーズンですね。先日、駅で大学生らしき女の子がはかまを着て歩いているのを見かけました。きっと卒業式に向かっていたのだと思います。その姿を見て、自身の学生時代を思い出しました。



私の大学生生活を振り返ってみると、特に4回生のときが印象深く残っています。なぜなら私の大学生生活の最後の1年間は、コロナとともに過ごした1年間でもあるからです。4月、予定より遅れて新学期が始まりましたが、授業は全てオンライン授業でした。登校できないので友達や先生とも会えず、使ったことがないZoomなどのツールに初めは戸惑ったのを覚えています。いつもは学校の自習スペースで課題をしていたので、ずっと家にいると集中力を保つのに苦労しました。しかし、オンライン授業ならではの良さも慣れてくるにつれて感じました。例えば、授業データが配布されるので、不明な点があれば何度も見返せたこと、登下校の時間が無くなり、その分自分の時間ができたことです。

時間が経つにつれ、授業によっては対面で実施されるようになりましたが、結局登校できたのは数えるほどでした。そして迎えた卒業の日。学生生活最後の1年間を十分におう歌することができず、少し惜しい気持ちを残しながらも、無事に卒業できたことに感謝しながら通り慣れた学びやを後にしました。

今思い返せば、自分の時間を使ってスキルアップのための勉強をしたり、オンラインツールに詳しくなったりなど従来の学生生活ではなかったからこそ経験できたこと、学べたことがあり、それが現在に生かされていると実感しています。そう考えるとコロナ禍での学生生活も悪いことばかりではなかったかもしれません。

